みどりの東北

Midori no Tohoku

No.258
令和7年 2025. 9
林野庁 東北森林管理局
Tohoku National Forest Regional Office

CONTENTS

特集コーナー …… 1
使える！ 行政情報＆研究・技術の参考情報 …… 2
地域発NEWS …… 3～6
国有林野所在市町村の魅力紹介 …… 7～8
地域のこの人 …… 9
イベント情報 …… 10

法体の滝（秋田県由利本荘市）
［提供：由利森林管理署］

今月のTopics

●大船渡市大規模林野火災で被災された皆様へ”組手什”を寄贈

7月15日、三陸中部森林管理署が、三陸森の会（林野庁のOB）及び登米森林組合と３者で、大船渡市大規模林野火災で被災され仮設住宅等に居住している入居者の皆様に対し、スギ間伐材の「組手什（くみてじゅう）」を配布し、収納棚の組み立てを行いました。

組手什の組み立て

●夏休み親子森林教室を開催

夏休みの小学生とその保護者を対象に、森林や木材の魅力を親子で楽しく学ぶイベントを、7月26日に当局で、また、8月8日には仙台市にて東北農政局など関係10機関と連携して開催しました。両イベントでは、森林づくりを遊んで学べるカードゲーム『ZORING』や木の実を使った工作体験、木材の香りや手触りを楽しむコーナーなどを通じて、多くの親子に森づくりの大変さや森林の恵みを身近に感じていただきました。子供達からは「とても楽しかった」「森林に足を運んでみたい」といった声が寄せられ、保護者の皆様にも大変好評をいただきました。

イベントの様子（仙台市）

特集コーナー

国有林野で今起こっている最新情報をお伝えしています。

白神山地世界遺産地域の保全活動について

藤里森林生態系保全センター

藤里森林生態系保全センターでは、白神山地世界遺産地域の保全管理の一環として、毎年、７月と９月に秋田県側の合同パトロールを行っています。今回は、７月に実施したパトロールの様子を紹介します。

合同パトロールは、白神山地世界遺産地域連絡会議の事務局である東北森林管理局が、環境省や秋田県などの構成機関や関係団体に参加を呼びかけて、白神山地世界遺産地域内における樹木の損傷やたき火跡などの状況を確認するほか、入山者に対するマナー向上の啓発を行うため実施しています。

令和７年度の第１回目は７月19日（土）、参加者28名が小岳コース（登山）と大滝コース（沢歩き）の２コースに分かれて実施しました。当日は、天気に恵まれたものの、朝から気温が上昇し、参加者からは熱中症を心配する声がありましたが、こまめに水分や塩分を補給してパトロールを行いました。

小岳コースは、登山道入口からゆっくりとしたペースでパトロールを開始し、休憩も多めに取りながら、山頂を目指しました。登山道周辺の樹木に損傷がないか、ゴミの投棄がないかなど注意を払いながらパトロールしましたが、マナー違反は見つかりませんでした。山頂付近では３名の登山者に対し巡視員からマナーパンフレットを手渡し、マナー向上を呼びかけました。参加した巡視員には草花に詳しい方もいて足元にも目を向けるほか、周りの景色を楽しむなど、貴重な時間を過ごすことが出来ました。

大滝（粕毛川）コースは、林道を15分程歩いてから、高低差約300mの斜面を一気に下り、粕毛川を上流に向かって歩く行程となっています。パトロールでは、水深があって腰下まで水に浸かる場面もありましたが、参加者は転倒しないよう慎重に歩いていました。こちらのコースも釣り人などが立ち入っている様子はなく、たき火跡やゴミの投棄などのマナー違反はありませんでした。川岸にはこの夏の猛暑にもかかわらず、まだ雪が残っているところもあり、白神山地の奥深さに驚かされました。

パトロール終了後の意見交換では、各コースから点検結果の報告があり、今回のパトロールでは異常が無かったことが確認されました。

夏山登山の最盛期となり、これから秋の紅葉シーズンまで入山者が多くなることが見込まれます。今後も、巡視活動や合同パトロールを行い、白神山地世界遺産地域がマナー違反のない、入山者の方が気持ち良く利用できる地域となるよう活動を行っていきます。

入山者へマナー啓発（小岳山頂）

慎重に歩く参加者（粕毛川）

使える！

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

東北森林管理局管内における スギ特定苗木の植栽開始について

山形県においては、当局管内の５県の中で先行して、スギの特定苗木の供給が開始されております。

特定苗木とは、特定母樹に指定された樹木由来の種子又は穂木から育てた苗木のことです。特定母樹は、スギ・カラマツ等の主要な造林木のうち、成長がよい等の優れた形質を持つ個体として選抜された第二世代精英樹（エリートツリー）を中心に指定され、①成長量は在来の系統と比較して1.5倍以上の材積、②材の剛性は、同様の林分の個体の平均値と比較して優れている、③幹の通直性は曲がりが全くないか、曲がりがあっても採材に支障がない、④花粉量が一般的なスギ・ヒノキのおおむね半分以下、という性質を持っています。

特定苗木には、特定母樹の優れた形質が遺伝しており、試験的な植栽では、通常の苗木と比べて成長が早いことが観察されています。そのため、植栽後に早く林地の下草の高さを超えることができ、下刈りの実施回数の削減により再造林負担を軽減できるなど多くの利点があります。

植栽後５年のエリートツリー（左側）と
従来品種（右側）（岩手北部署管内の試験地）

当局では、今年度山形県内の造林地において、特定苗木を積極的に植栽しており、従来品種の苗木との比較や特定苗木植栽後の施業体系を確立するための成長調査を行うこととしております。

ご関心のある方は、東北森林管理局森林整備課（TEL：018-836-2162）へお問合せ下さい。

ヒバ天然林施業の調査データ 収集と解析について

青森県のヒバは青森ヒバと呼ばれており、日本三大美林の一つに数えられ、材質としては優れた耐腐朽性があり、世界文化遺産の中尊寺や重要文化財の弘前城など古くから神社仏閣等の建築物にも使用されてきました。

ヒバの多くは津軽半島と下北半島に分布しており、主に択伐天然更新※による施業で管理されています。

森林技術・支援センターでは、青森県の津軽半島にある試験地にて、伐採前後の基礎資料の収集と施業効果の検証を目的として、ヒバの成長量等の調査を行っています。

こちらの試験地では、平成８年に択伐を実施しており、これまでの調査結果から、択伐から約14年後の平成22年には蓄積が伐採前の水準まで回復していると考えられます。そして、今後の施業においても同様の期間で森林が元の蓄積まで回復するのか、また、より良い成長を促すにはどのように森林を管理していくべきかなどについて継続して調査を行う予定です。

本取組の詳細については森林技術・支援センターのホームページに掲載してありますので、ご興味を持たれた方はぜひ御覧になってください。

ヒバの稚樹（試験地内）

※部分的に伐採を行い、自然に落ちた種子によって森林の再生を図る方法

ご関心のある方は、森林技術・支援センター（TEL：0173-57-9022）へお問合せ下さい。

地域発NEWS

（治山・林道事業の取組）

各（支）署・センターでは、集中豪雨や台風等により被災した山地の復旧整備、機能の低下した森林整備等を推進したり、森林の整備・保全や林産物の供給等を効率的に行うための路網整備を推進したりしています。

維持管理費の低減に向けた林道補修

岩手

岩手北部森林管理署

林道は、森林整備や木材の運搬等を行うための根幹となる施設であり、必要不可欠なものです。

近年は、集中豪雨による大雨の影響で林道が被災することも多いほか、ぬかるみや沈下（轍）が発生して走行性が低下する状況が続いています。

そのため、頻繁に砕石を購入し補修していたのですが、当署では維持管理費の低減に向け、テラセルと土木シートを使用した林道補修を行いましたので、ご紹介します。

テラセルとは、高密度ポリエチレン樹脂製の土壌安定枠です。網目状の構造で砕石を網目に入れて拘束するため、砕石が脇に逃げることを防ぐことができます。また、土木シートはポリエステル繊維素材でできており、吸水性があります。これらを併用することによって、林道のぬかるみ発生と沈下を抑制することが可能です。

施工方法は、林道を幅3.0m、深さ15cmで掘削した上に土木シートとテラセルを設置し、砕石を被せて転圧します。課題は施工コストの上昇ですが、その後の維持管理費の削減が期待できます。

森林のもたらす効果を十分に発揮できる山づくりを行うため、現地に適した工法で林道の維持管理に努めていきます。

テラセルを用いた林道補修の様子

豪雨災害の爪痕と復旧への歩み

秋田

秋田森林管理署

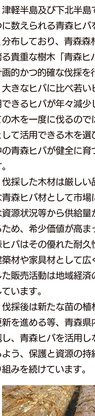
秋田市北部の仁別国民の森を東西に走る仁別林道（約12km）は、太平山の旭又登山道入口や仁別森林博物館へのアクセス道として、一般の方々に広く利用されてきました。

このような中、２年前の令和５年７月にこのエリアを豪雨が襲い、仁別雨量観測所における24時間降水量は７月の１か月平年値を上回る332.5mmに達し、観測史上１位を記録。林道災害（12か所）と山地災害（３か所）を引き起こしました。

これらの被害が甚大であったことから、被災箇所を令和６～８年度の３年間で復旧する計画を立て、６年度には森林博物館前の５か所の工事が完成しました。

翌７年度には、当署で初となる「概算数量発注方式」を取り入れたことにより、①早期の契約、②十分な工期の確保ができました。また、工期短縮に向けて施工性の高い工法を選定するなど、８年度完成を目指し関係者が一丸となって取り組んでいるところです。

工事の施工に当たり、現在は安全確保のため、一般車両の通行を規制していますので、御理解と御協力をお願いします。



被災直後（左）と工事完成後（右）

被災・復旧の状況はこちら→

地域発NEWS

（森林整備等の取組）

各（支）署・センターでは、植栽、保育、間伐等の森林整備を適切に行うことで、健全な森林を造成し、資源の循環利用を推進したり、地域の木材の安定供給体制を構築するため、製材・合板工場等の需要者と協定を締結したりしています。

青森ヒバを守る伐採と保護

青森

青森森林管理署

津軽半島及び下北半島では、日本三大美林の一つに数えられる青森ヒバを主体とする天然林が広く分布しており、青森森林管理署では、青森県の誇る貴重な樹木「青森ヒバ」を守り育てるために、計画的かつ的確な伐採を行っています。

大きなヒバに比べ若いヒバの割合が少なく、活用できるヒバが年々減少していることから、すべての木を一度に伐るのではなく、大きくなり資材として活用できる木を選び伐採することで成長途中の青森ヒバが健全に育つ森林環境を整えています。

伐採した木材は厳しい品質検査を経て、高品質な青森ヒバ材として市場に出されます。高品質材は資源状況等から供給量が急速に減少してきているため、希少価値が高まっています。地元産の青森ヒバはその優れた耐久性や香りで評価が高く、建築材や家具材として広く利用されており、こうした販売活動とは地域経済の活性化にも大きく貢献しています。

伐採後は新たな苗の植林や自然の力を活かした更新を進める等、青森県内の各森林管理署等と連携し、青森ヒバを活用しながら後世に残していけるよう、保護と資源の持続的活用を両立させる取り組みを続けています。

青森ヒバ高品質材

ぐんぐん育つ早生樹・ユリノキ

秋田

米代東部森林管理署

当署管内で利用期を迎えている人工林は、伐採して木材利用するとともに、再造林することにより、森林資源の循環利用を行っています。植える樹種はスギやカラマツなど一般的ですが、従来の樹種よりも成長が早く、短期間で利用可能となる「早生樹」に現在注目が集まっています。東北地方では早生樹を植えた事例がまだ少ないことから、当署では早生樹のひとつである「ユリノキ」を試験的に植栽し、その成長状況について調査を行っています。

ユリノキは、モクレン科ユリノキ属の落葉広葉樹で、Tシャツのような形の葉や、５～６月に咲くチューリップのような花が特徴的です。街路樹として植栽されていることが多いため、ユリノキを見たことがある方もいらっしゃるかもしれません。

平成29年にユリノキを試験的に植栽してから、今年度で８年目を迎えました。昨年度の調査結果によると、ユリノキの樹高は６～７メートルにまで達しており、従来植栽していた樹種よりも良好な成長が見られています。早生樹の導入に向け、引き続き調査を継続して行い、ユリノキの成長を見守っていきたいと思います。

ユリノキ成長量調査の様子

地域発NEWS

（病虫獣害対策・森林生態系保全等への取組）

各（支）署・センターでは、希少な高山植物や生態系への脅威となる深刻な病害虫や動物による森林被害への対策を推進したり、森林生態系の保全・管理や自然再生、希少な野生生物の保護等をとりしています。

情報共有強化によるナラ枯れ被害対策

岩手

岩手南部森林管理署

岩手県におけるナラ枯れ被害は、平成22年に当署管内の奥州市の国有林で初めて被害木が確認されました。

当署では、この被害発生以降、岩手県の出先機関や地元自治体と連携し、合同ドローン調査の実施や被害状況等の情報交換会を重ねながら被害の把握や対策を進めてきました。しかし、沿岸部では県北地域まで北上し、内陸部の山地においても、現在、当署管内北部に先端地域があるなど、被害が広範囲になり、より効率的な対応も必要となっています。

このため、令和６年秋に、これまでの民有林・国有林での被害や処理状況を収集してGIS上で整理・共有し、新たな被害の発生が予想される箇所について重点的に合同調査したところ、被害先端地域となっている西和賀町北部など複数のエリアで被害の拡大が確認されました。

このことを踏まえ、翌年１月の県・自治体担当者との意見交換会において、民国の最新の被害箇所を追記した図面を共有し、当該エリアを次年度防除事業の優先エリアとして民国協議した防除実施を提案するなど、効率的かつ効果的にナラ枯れ被害の拡大を抑制するよう取り組んでいます。

ナラ枯れ被害の広域化により、拡大防止が徐々に困難な状況とはなっていますが、今後も地域の関係者と精緻な情報交換を行いつつ、効率的かつ効果的な対策を行ってまいります。

ドローンによる合同被害調査

貴重な自然環境を次世代に引き継ぐために

山形

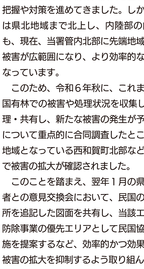
置賜森林管理署

当署が管理する山形県南部の置賜地方は、飯豊、朝日、吾妻といった２千m級の東北地方でも有数の名峰に囲まれています。各連峰の頂周辺には「森林生態系保護地域」の設定し、原生的な森林生態系を保存することにより、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等へ貢献しております。

当署では、吾妻山周辺の保全管理と森林環境整備のあり方等を検討する「吾妻山周辺森林生態系保護地域の保全管理に関する検討会」を開催し、関係機関、有識者、市民団体との情報共有、活動方針に係る意見交換などに率先して取り組んでおります。また、環境省が主催する「朝日連峰保全協議会」及び「飯豊連峰保全協議会」並びに「磐梯朝日国立公園磐梯吾妻・猪苗代地域満喫プロジェクト地域協議会」へも参加しております。

さらに、「森林保護員」を雇用し、保護地域内のパトロールや登山者へのマナー啓発活動を行うとともに、登山者の入り込みによって裸地化した山地湿原の植生回復事業を地元の市民団体の皆様と毎年共同で実施するなどの活動も行っております。

今後も、置賜地域の豊かな自然の魅力を次世代に引き継ぐため、こうした自然環境保護の取組を継続して行ってまいります。



市民団体と共同での植生回復作業

地域発NEWS

（ふれあい・管理・総務等の取組）

各（支）署・センターでは、森林環境教育のプログラムの整備やフィールドの提供などによる「森林環境教育」の取組を推進したり、観光資源としての活用等を通じて国民に開かれた管理経営を推進したり、地域産業の振興や住民の福祉の向上等に貢献するために、地元住民等に対して国有林野の貸付を推進したりしています。

林郷小学校愛護少年団の児童と森林教室

岩手

三陸北部森林管理署久慈支署

６月１日、洋野町が開催した久慈平岳山開きに参加し、県北広域振興局林務部と共に林郷小学校愛護少年団の児童へ森林教室を行いました。

昨年度までは、久慈平岳で開催していましたが、今年は天候不順のため、林郷小学校の体育館で開催することになりました。

はじめに、振興局の方が、森林の持つ働きとして、水や空気をきれいにすることや人と動物の生活を支えていることなどを話しました。

その後、児童に身近な森林を体験してもらうため、森林・動物クイズと丸太切りに挑戦してもらいました。クイズは、木の種類や森に生息している動物、山菜などから出題しました。児童からは「全問正解できた！」「聞いたことはどもう覚えた！」といった声があがりました。丸太切りでは、硬さの違うケヤキやサクラ、アカマツなどから好きな丸太を選び、自分で切る体験をしてもらいました。切り終えた後は、木の種類によって硬さや切り口が違うことに驚いていました。

クイズに答えている様子

森林教室をきっかけに森林に興味を持ち、その役割や大切さを広く知ってもらうために、森林環境教育活動に今後も取り組んでいきます。

風の松原を守る市民ボランティア大会

秋田

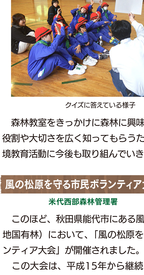
米代西部森林管理署

このほど、秋田県能代市にある風の松原（後谷地国有林）において、「風の松原を守る市民ボランティア大会」が開催されました。

この大会は、平成１５年から継続して取り組まれ、松くい虫被害拡大防止と景観維持の為、発生源のひとつである枯れ枝等の除去を行っています。新型コロナによる行動制限等により、６年ぶりの開催となりましたが、風の松原に対する関心も高く、市内の企業や団体、高校から当初想定を超える、約160人が参加しました。

ボランティア大会2025開会式

また、東北森林管理局長をはじめ、局署職員も参加者と一緒に作業をしました。地域活動の一環としてこれからも取り組んでいくとともに、松くい虫被害拡大を防ぐために防除作業を実施し、地域の財産である「風の松原」を守っていきたいと考えています。



白砂青松のエリアから枝条を運び出す

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

青森県西津軽郡深浦町

津軽森林管理署

人　口　6,677人（R7.6.30現在）
面　積　488.91㎢
市町村の木　ブナ　　市町村の花　フクジュソウ

深浦町は、世界自然遺産白神山地の麓にある青森県の西南部に位置する日本海に面した町です。かつては北前船の風待ち湊として栄え、円覚寺をはじめとした寺社仏閣や信仰を集める巨樹古木など、現在も多くの文化財が存在します。

「北金ヶ沢の大イチョウ」は、国天然記念物に指定されている樹齢1,000年以上の老木です。幹まわり約22ｍの日本一の巨樹で、垂れ下がるたくさんの気根から「垂乳根の公孫樹」とも呼ばれています。

日本一の大イチョウ（黄葉時期）

深浦町の有名な観光スポット十二湖では、四季折々の景色を楽しむことができます。特に青池は、十二湖を代表する神秘的な池であり、青インクを

青池

流し込んだように真っ青な池水を湛えています。陽光と見る角度によって千変万化する幻想的な世界が広がります。十二湖は森林セラピー基地に認定されており、癒しを体験することができます。

津軽の殿さまが千畳の畳を敷いて大宴会を開いたとされる景勝地・千畳敷海岸では多くの奇岩、怪岩が点在しており、長い年月をかけて生み出された大自然の造形美を楽しむことができます。

また、約80kmにわたる海岸線は、「夕陽海岸」とも呼ばれ、日本海に沈む真っ赤で大きな夕陽を眺めることができます。

黄金崎不老ふ死温泉からの夕陽

深浦町は多くの食材にも恵まれており、青森のマグロといえば「大間のマグロ」というイメージが強いのですが、実は深浦町はマグロの水揚げ量青森県ナンバーワン！マグロの街ふかうらで生まれたマグロ尽くしの大人気メニュー新・ご当地グルメ「深浦マグロステーキ丼」を堪能することができます。

深浦マグロステーキ丼

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
深浦町観光課　Tel. 0173-74-4412

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

宮城県刈田郡七ヶ宿町

仙台森林管理署

人　口　1,184人（R7.6.30現在）
面　積　263.09㎢
市町村の木　コブシ　　市町村の花　乙女ゆり

七ヶ宿町は蔵王連峰の南麓、宮城県の最南西部、山形県、福島県に隣接しており、地域の大部分が自然環境に恵まれています。また、町のほぼ中央を東西に白石川が流れ、これに沿うように集落が形成されています。

毎年10月下旬、七ヶ宿町の雄大な自然やダム湖畔の鮮やかな紅葉やおいしい秋の幸を味わえるイベントとして「七ヶ宿湖一周ウォーキング」を開催しています。約12㎞のダム湖畔を、各々のペースで紅葉を楽しみながらダムの堤体を渡り一周します。ゴール後には、きのこ汁で秋の味覚を楽しんだり、道の駅七ヶ宿でお買い物をしながら、ゆったりとしたひとときをお過ごしください。

七ヶ宿湖一周ウォーキングの様子

高さ約10m、幅約30mの豪快な滝で川幅いっぱいに流れ落ちる水量の豊かな滑津大滝は、見る人を圧倒します。散策道から眺める滝の轟々という水音と、水しぶきは迫力があります。

滑津大滝

夏は大自然に包まれたきららの森キャンプ場。焚火を囲みながら、空いっぱいの星を眺める非日常体験を。冬はファミリーにぴったりのゲレンデが広がる七ヶ宿スキー場。スキー、スノーボード、そりなどいろんな楽しみ方ができ、ゲレンデサイドには宿泊可能なコテージも完備！スキーの後は、コテージでのんびり家族や仲間と特別な時間を過ごせます。

みやぎ蔵王七ヶ宿スキー場

歴史と風土が育んだ、七ヶ宿の“そば文化“このエリアは「七ヶ宿そば街道」とも呼ばれ、それぞれの店が技とこだわりを込めた手打ちそばでおもてなし！８月の終わりにはそば畑が一面の白い花が風に揺れ、実りの秋を迎える11月には香り高い「新そば」が登場。町内を巡る「新そばスタンプラリー」も開催されます。

農民そばや　芭蕉庵のそば

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
七ヶ宿町ふるさと振興課　Tel. 0224-37-2194

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林管理署等で働く人の紹介です。

転職して林業に携わっています

岩手

岩手県国有林材生産協同組合連合会
川井地区国有林材生産協同組合　蓬田　沙織さん

私は３年前に転職して、川井地区国有林材生産協同組合へ入組しました。前職では経験の無かった森林管理署、上部団体、自治体、監督署、ハローワーク等との外部対応が多くあります。外部との対応は緊張しますが、新鮮さも感じます。様々な仕事を経験することで、自分の成長に繋げたいと思っています。先ずは、年間を通じて予定される様々な行事や事務処理を、時期を失することなく計画的に処理するよう取組みます。

私が現場で行う仕事に材積調査があり、入組当時は木の名前、木口の測り方、木の良し悪し等難しかったことも、事務所の先輩や現場従業員の指導により、今では自称一人前です。材積調査で野帳の本数と丸太の本数が一回で一致したときは、無意識に「よし」と大きな声が出ています。

現場への行き帰り等に、森の新緑や紅葉等の景色を眺めると心身が癒され、心が安らぎます。

３年前の求職活動で当組合を選んだのは、先輩の親身な誘いと、仕事で山へ行く機会があること、陸中川井駅のそばに建つ、新築間もない当組合の事務所に惹かれたからです。

チェーンソーの操作や林業機械の運転はできませんが、私は林業女子です。

材積調査（着手前）

自然豊かな地での共存共生を目指し

岩手

盛岡森林管理署雫石森林事務所
地域統括森林官　保坂　享さん

私の勤務する雫石森林事務所は岩手県と秋田県の県境である国見峠に隣接する雫石町を管轄する位置にあります。

雫石町は県民のシンボル的存在である霊峰岩手山を有し、秋田県境には駒ヶ岳、またウインタースポーツやキャンプをする方には雫石スキー場や網張スキー場、岩手高原スノーパークと夏冬通してのレジャーに事欠かない地域となっています。

温泉にも恵まれ、駒ケ岳から沸く国見温泉や岩手山の麓に有する網張温泉など、雄大な自然に恵まれた環境の中で勤務を行っています。

また、隣接地には全国的に有名な小岩井農場があり、一本桜には春の開花時期はもちろん、夏季の新緑時期にも多くの観光客が訪れています。

今年は雫石町が制定されて70周年の節目を迎え、大いに発展していくステップを迎えています。

この恵まれた自然環境の中、岩手山や駒ケ岳等に有する国有林の境界維持管理やスキー場などの貸付状況確認等、また森林の維持管理のための育林作業（下刈りや除間伐等抜き切り）の監督用務を日々の業務として行います。自然と共生していく環境を楽しみながら作り守っていき、後世にこの豊かな自然を引き継いでいくことが、地域貢献等に繋がる業務と思い、日々を過ごしています。

小岩井の一本桜

東北森林管理局の管内で予定されている

イベント情報

青森県

9/6(土)～7(日) アオーネ白神十二湖・クラフト展2025

飲多くのクラフト作家やキッチンカー、飲食ブースが並びます。熱気球搭乗体験も同時開催予定！

主催 アオーネ白神十二湖・クラフト展実行委員会事務局

10/11(土)～12(日) 白神山地ビジターセンターふれあいデー

しらかみクイズラリーやクラフト体験など、様々なコーナーがいっぱい！

主催 白神山地ビジターセンター

10/4(土)～5(日) 梵珠の森・秋のふれあいデー

秋の梵珠山登山を楽しめる２日間（木登りやクラフト体験、コンサートも併催）

主催 青森県立白然ふれあいセンター

10/5(日) ロープを使って木登り体験

ロープを使って木登りを体験します（対象：小学生以上、参加費：600円）

主催 八戸市

11/1(土)～2(日) 奥入瀬渓流 三里半ウオーク

いつもと違う、車のいない未来の奥入瀬渓流を一定先に体験しませんか？（要申込）

主催 NPO法人青森県ウオーキング協会

秋田県

9/1(月)～26(金)※平日のみ 学生向け狩猟体験

狩猟について学び、実際に罠を作り、獲物を狙う射撃を体験！

主催 北秋田まちづくり観光協会

9/24(水)・10/18(土)・11/22(土) 大学生と取り組む！SNS運用実践講座

実際に林業の現場にも足を運びながら、どのように発信すれば林業の魅力が伝わるのかを学びます（事業者向け）

主催 秋田県

9/24(水) 第50回全国育樹祭開催決定記念講演会

演題：地球温暖化で変わる秋田　私たちにできることは（要申込）

主催 公益社団法人 秋田県緑化推進委員会

10/5(日) 白神　山の森・海の森・二ツ森づくり

ブナの苗木を植樹します（協力金2,000円、中学生以下1,000円、未就学児無料）

主催 ＮＰＯ法人白神ネイチャー協会

10/11(土)～12(日) まんたらめ ちびっこキャンプ

子ども同士での集団生活を楽しみながら、自立心や協調性を育みます（要予約）

主催 秋田市太平山白然学習センター

岩手県

9/13(土) きのこ教室（講師：岩手菌類研究同好会）

国内でもノコを採取して、講師から菌類としてのきのこの不思議な性質について、ポイントを学びます

主催 岩手県県民の森

9/27(土) ブルーベリー収穫体験

収穫した量の半分をお持ち帰りいただけます（要予約）

主催 岩手県立御所湖広域公園

9/28(日) 折爪岳の虫を学ぼう！～観察編～

折爪岳の虫を捕まえて、観察してみよう！（講師：伊達　功　先生）

主催 折爪岳振興協議会

10/11(土)・12(日)・13(月)・18(土)・19(日) 夏油高原紅葉まつり

夏油高原スキー場のゴンドラに乗って、山頂から秋色の山麓の景色を眺めた後は、出店でグルメをお楽しみいただけます

主催 夏油高原まつり実行委員会

宮城県

9/28(日) 親子ハイキング（ネイチャーゲーム）

親子でネイチャーゲームを楽しみながら野鳥の森を歩きます（参加費200円）

主催 宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター「こどもはうす」

10/4(土) サイクルフェスタ丸森2025

変化に富んだコースを走行しながら、美しい風景、地元の食材を楽しんでいただき、参加者に大満喜の魅力を PR します。

主催 サイクルフェスタ丸森実行委員会

10/4(土) ヤギと一緒に水辺の草刈り～広瀬川周辺のお手入れをしよう～

水辺の自然環境を守るために私達にもできることについて学びます（要申込）

主催 せんだい環境学習館たまさきんサロン

10/5(日)～6(月) みやぎ2025森林・林業・環境機械展示実演会

林業の現場で働く最新の高性能林業機械などの展示・実演ほか

主催 宮城県・一般社団法人林業機械化協会

10/11(土)～13(月) 子ども地球探検隊

自然体験活動や見学等を通じて、自然の仕組みについて理解を深めるとともに、その保護や活用について考える

主催 国立花山青少年自然の家

山形県

9/27(土) おきたま森の感謝祭2025

「豊かな緑　使い、育て　循環の輪」をテーマにした森づくり活動

主催 山形県、飯豊町、置賜林業推進協議会

9/28(日) グッド・ウッドフェスティバル2025

木育ワークショップ、ミニコンサート、チェンソーアートなど

主催 山形県遊学の森案内人会

10/3(金) 紅葉の弥陀ヶ原観察会

月山八合目弥陀ヶ原の移り行く四季の変化、草紅葉を楽しもう

主催 月山ビジターセンター

10/5(日) 眺海の森 森林教室

①ふくろうと写真たて又はフォトフレーム作り②木の実探しの散策

主催 一般社団法人 庄内森林保全協会

10/11(土) 秋の白然を味わおう

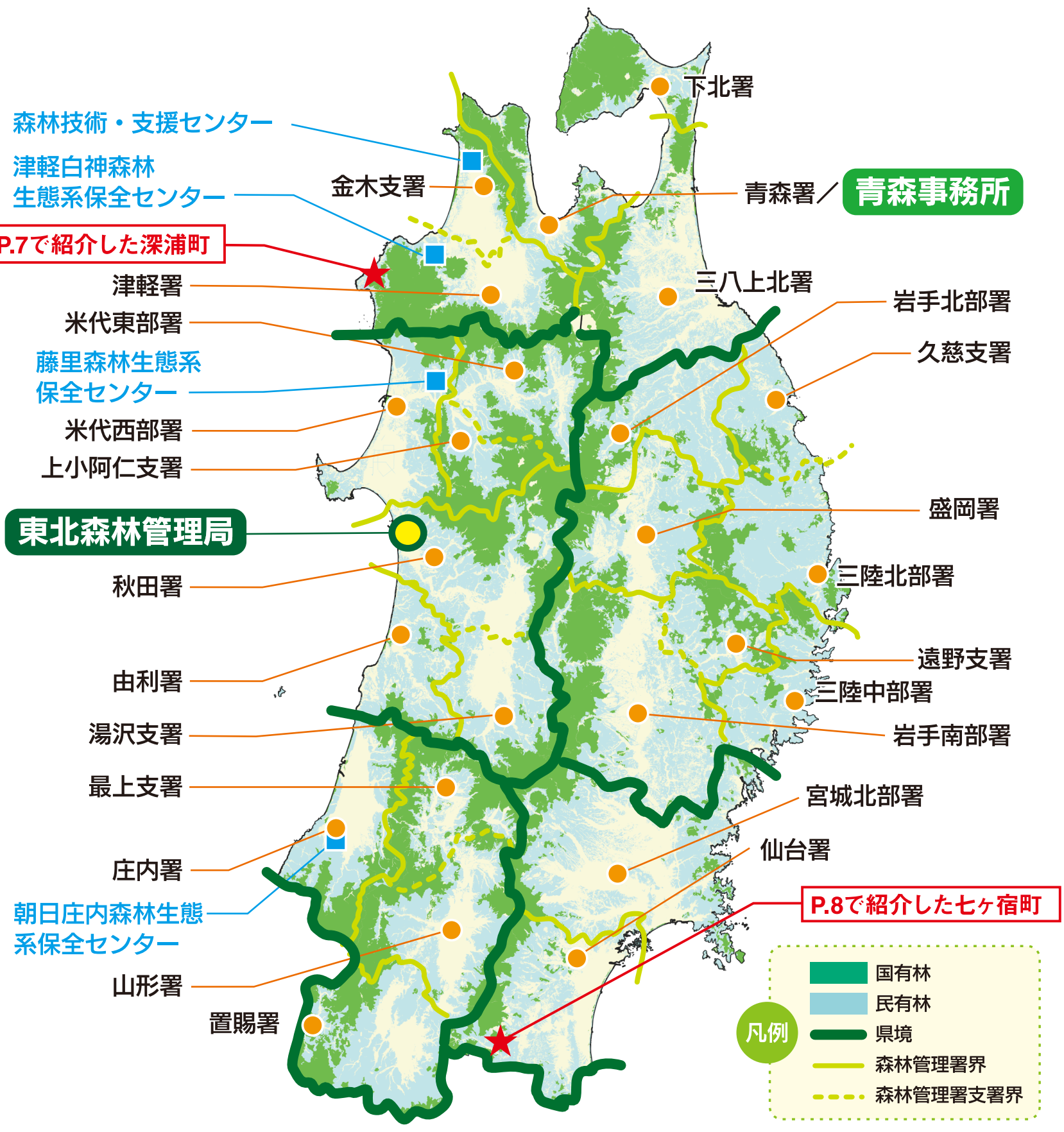
山形県立博物館・山口真氏の解説による秋の植物観察を行います！（参加費600円）

主催 山形少年白然の家

※掲載内容は、天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

東北森林管理局マップ

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東舘町7-39	☎0198-62-2670
宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市末広町23-37	☎0235-26-1841

東北森林管理局

〒010-8550　秋田県秋田市中通 5-9-16　☎018-836-2014

みどりの東北 Midori no Tohoku

No.258

●発行日／令和７年９月

●発行／東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください

https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/

表紙写真

日本百名山「鳥海山」の東麓に流れる落差57.4mの名瀑で、日本の滝百選となっています。周辺は園地になっており、気軽にその美しい姿を見ることができます。